



KEIYU

Osaka Seikei Gakuen Alumni Association Community Newspaper

2021

No. 43



会員情報変更のお願い



<https://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



会員情報変更手続き
専用ページ QRコード

学校法人 大阪成蹊学園



ご挨拶

大阪成蹊学園蹊友会 会長

荻田 一子

陽春の候、会員の皆様には、蹊友会活動にご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。昨年度は、6月に開催予定であった蹊友会総会の開催にむけて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から会員の皆様の健康と安全を第一に考えてやむを得ず開催を中止とさせていただき、例年行っている同窓会親睦行事の開催についても見送らせていただきました。今年度は会

員の皆様にお集まりいただける機会がもてるよう、祈るばかりです。さて、母校大阪成蹊学園は令和5年度に迎えます大阪成蹊学園創立90周年記念事業として、阪急相川駅前に新キャンパス用地を確保し、8階建ての校舎を建設、そこに大阪成蹊大学の新たな3学部を設置し、7学部の文系・理系・芸術が融合した真の総合大学へと変貌を遂げようとしております。また新校舎には、我々卒業生

にとっては念願の蹊友会のホールとサロンを設けていただくこととなりました。今後も、蹊友会の発展のためにご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



ご挨拶

学校法人大阪成蹊学園 理事長・総長
(大阪成蹊学園蹊友会名誉会長)

石井 茂

コロナ禍での徹底した 予防対策と迅速な学生支援

大阪成蹊学園は、卒業生の皆様の多大なご支援のもと、今年で創立88周年を迎えます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事の中止・延期や遠隔授業の導入など、本学園にとりましても、学生・生徒や保護者、卒業生の皆様にとりましても、これまで経験したことのない事態に直面した一年でした。学園では、感染症の拡大の兆しが見え始めた頃か

ら早期に「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、各校において徹底した感染防止策に取り組んでまいりました。また、学生・生徒への支援として、遠隔授業を受けるうえで必要な学修環境整備のための支援金3万円を全学生・生徒へ支給したり、約1,000台のノートパソコンやタブレット等を大学・短期大学の希望学生へ貸与したり、さらには、オンライン面談を実施して個々の学生・生徒の学修・生活状況を把握し個別フォローを行うなど、さまざまな対応を行いました。教職員一人ひ

とりが、遠隔授業の質の向上や学生・生徒の生活支援に対して高い意識を持ち、迅速な対応ができたと思っております。こうした対応の徹底により、全授業を対象として例年実施している授業評価アンケートでは、授業に対する学生の満足度が、コロナ禍においても極めて高い水準となりました。学生・生徒にとっては、慣れない遠隔授業や課題提出など様々に不便があったことと思いますが、そのようなイレギュラーな環境の中でも、個々人が授業や課題、資格・免許取得のための学修など目

の前のことに熱心に打ち込み、それぞれに学修の成果を収めることができたものと感じています。また、本学園が示した感染症対策に関する様々な注意事項やお願いごとを遵守いただいたことにより、今日まで、学園内における2次感染やクラスターを防ぐことができています。感染症対策にご協力くださった皆様に、改めて深く御礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご協力をお願いする次第でございます。

学園創立90周年に向け さらなる発展へ

さて、学園では創立90周年に向け、大阪成蹊大学に新学部を開設するとともに、阪急相川駅の西側に新キャンパスを開設する計画を構想中です。計画のスタートとして、令和4年に国

際観光学部（仮称）の新設を予定しています。続いて令和5年に看護学部（仮称）とデータサイエンス学部（仮称）、令和6年に社会学部（仮称）を開設する計画です。看護学部では、今年度より大阪成蹊女子高等学校に開設いたしました看護医療進学コースとも連携し、高大接続による看護教育にも注力していきたいと考えています。これら4つの新学部の開設をもって、大阪成蹊大学は文系・理系・芸術が融合した7学部の総合大学へと発展していきます。

また、阪急相川駅前新キャンパスの開設準備も着々と進めています。新学部の学びに特化した施設・設備や課外学修・交流スペース等の充実はもちろんのこと、令和5年に竣工予定の8階建ての新棟には、見晴らしの良い最上階に展望食堂と「蹊友会サ

ロン」を設けることも予定しています。さらにこの新棟の1階には約500名を収容できる「蹊友会こみちホール」を隣接して建設する予定で、このホールにはオーケストラによる演奏会や芸術学部・生活デザイン学科のファッションショー、各種シンポジウム等の開催も可能な設備を整えます。

コロナ禍の中、社会が大きく変わりつつありますが、どのような時代にあっても夢や希望を持ち、社会に貢献しながら力強く生きていける真の「人間力」を持った人材を輩出するため、教職員一丸となって、より一層の教育の充実に励んでまいります。卒業生の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。



校長新任挨拶

大阪成蹊女子高等学校 校長

若林 智子

今よりも「1歩前へ」を実践！

昨年度（令和2年4月）、大阪成蹊女子高等学校の校長として着任しました若林智子です。府立高校で36年間勤務をし、最後の5年間は校長でしたが、2校とも初の女性校長でした。そして、本校の長い歴史の中でも初の女性校長となります。「生徒たちがめざす女性像でいたい」「度胸も愛嬌もある人間でいたい」を目標に日々努めていきます。よろしく願いいたします。

さて、着任以降、新型コロナウイ

ルス感染症の影響を受け、withコロナの高校生活では「これまで通り」にいかないことの連続です。昨年度は、体育祭も修学旅行も実施できず、開催できた学校行事も新たな制約との闘いでした。しかし、朗らかで澁刺として元気を与えてくれる1370名ほどの在籍生徒は本校の自慢です。

大阪成蹊女子高等学校の歴史と伝統を引き継ぐことは、変化を継続することであり現状を維持することではない、という思いがあり、生徒た

ちには「普通って何？」「今よりも1歩前への気持ちを持ってほしい」と機会あるごとに語りかけています。自分の固定観念にとらわれず、幅広い視野で物事を考えられるように、と願っています。

生徒たちが少しでも1歩前へ！という気持ちになるように寄り添い、励まし、そして一緒に進んでいきたいと考えています。これまでと変わらぬご支援をいただきますよう、よろしく願いいたします。

文・理・芸 総合大学へ！

大阪成蹊大学の駅前新キャンパス構想



※イメージパース図

これまでの10年間で飛躍的な発展を遂げてきた大阪成蹊大学。このたび学園が創立90周年を迎えるにあたり、文系・理系・芸術が融合した真の総合大学へとさらに発展します。現在の経営学部、芸術学部、教育学部の3学部に加え、令和4年に国際観光学部（仮称）、令和5年に看護学部（仮称）とデータサイエンス学部（仮称）、令和6年に社会学部（仮称）を新たに設置し、合計7学部の総合大学へと規模を拡大。また令和5年にはそのための施設として、阪急相川駅の西側に新しいキャンパスを開設します。そこで、今後ますます躍進していく大阪成蹊大学の将来構想についてご紹介します。

New Campus

阪急相川駅から徒歩3分！相川駅前新キャンパスの誕生！



※イメージパース図

新キャンパス 外観

阪急相川駅前の新キャンパスには、令和5年に8階建ての新棟を建設する予定です。この新棟は総レンガタイルづくりの重厚感ある建物で、1階に図書館、ラーニングコモンズ、事務室等を、2階から7階までに看護学部（仮称）、データサイエンス学部（仮称）、社会学部（仮称）の教室や演習室、実習室、研究室などを配備します。また、最上階には大阪の街並みが一望できる食堂フロアも建設します。阪急相川駅から徒歩3分という抜群のアクセスの良さで、学生にとってより通いやすいキャンパスとなります。

新キャンパスの新棟に「蹊友会サロン」と「蹊友会こみちホール」を建設！

8階建ての新棟（令和5年に竣工予定）の最上階には、見晴らしのよい食堂フロアに同窓生が利用可能な「蹊友会サロン」をつくります。またこの新棟の西側には約500人を収容できる「蹊友会こみちホール」も建設予定で、このホールには、オーケストラによる演奏会やファッションショー、各種シンポジウムの開催も可能な設備を整えます。



※イメージパース図

最上階 食堂フロア



※イメージパース図

蹊友会こみちホール

OSAKA SEIKEI GAKUEN

90th Anniversary

University

3学部から7学部へ！
文・理・芸が融合した
総合大学へと発展！

令和6年までに「文・理・芸」合計7学部の総合大学へと発展する大阪成蹊大学。ここでは新しく開設する4学部の設置構想についてご紹介します。

国際観光学部（仮称）

（定員80名、令和4年開設予定）

「日本有数の国際観光学部」として、グローバルビジネスの推進と観光産業の再興に貢献

コロナ禍で打撃を受けた日本経済を立て直すには、観光産業の再興と発展が不可欠です。また世界にも視野を広げ、グローバル事業を推進していくことも必要となります。大阪成蹊学園は50年以上の観光教育の伝統を誇る日本有数の高等教育機関です。国際観光学部では、その確固たる観光教育の伝統・実績と、国際観光ビジネス学科でのグローバル教育の実績を活かし、世界で活躍する観光人材を養成するとともに、日本の観光産業の再起と発展への貢献をめざします。

データサイエンス学部（仮称）

（定員80名、令和5年開設予定）

最先端の情報学が学べる、西日本の私立大学で初（※）のデータサイエンス学部を開設

デジタル化が進む現代においては、データ活用のための専門的な知識や技術を持ったデータサイエンス人材のニーズが高まっていますが、日本ではこの分野の教育が著しく遅れています。こうした現状を受け、大阪成蹊大学では西日本の私立大学で初（※）となるデータサイエンス学部を開設します。情報学分野の最先端での教育・研究実績を持つ教員による指導のもと、膨大なデータを収集・分析し、その結果から問題点やその解決策を見出すなど、必要なデータ活用スキルを身につけます。そのスキルを活かし人々の健やかな暮らしと豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成します。

（※）2021年1月現在



看護学部（仮称）

（定員80名、令和5年開設予定）

充実した看護教育で日本の医療に貢献する看護人材を育成

日本の医療・看護のあり方が見直されつつある今、看護職の役割や活躍の場は広がり、より高い専門性が必要となります。看護学部ではこうした医療現場のニーズに応え、これからの医療界に大きく貢献できる人材を育成します。新キャンパスに建設する新棟には看護学部の専用フロアを設け、最新の施設・設備を完備する予定です。豊富な教育経験と教育実績をもつ教員による丁寧な指導のもと、高い専門性と国際感覚、思いやりの精神を持った「人間力」のある看護人材の育成をめざします。

社会学部（仮称）

（定員120名、令和6年開設予定）

社会問題を紐解き、豊かな未来社会の実現に貢献できる人材を育成

社会の変化とともに、私たちの周りでは様々な社会問題が生じています。例えば、新型コロナウイルスの蔓延や個人情報の流出、医療費負担増、介護人材不足などはニュースなどでもよく耳にする身近な社会問題です。社会学部では、こうした様々な問題がなぜ生じているのか、どのような解決策があるかを考え、豊かな社会とは何かを追求します。また、社会の組織・集団における人間同士のかかわりの中で生じる問題にも目を向け、その要因や解決策を探る社会心理学の学びも展開します。



New Faculties

経営学部

教育学部

芸術学部

国際観光学部（仮称）

看護学部（仮称）

データサイエンス学部（仮称）

社会学部（仮称）

理

※本紙に掲載の新キャンパスおよび学部の開設はいずれも構想中・申請予定のものであり、変更場合があります。

大阪成蹊学園 現役学生達が目覚ましい活躍をご紹介します

2019年度

コーラス部

- ・第19回 大阪ヴォーカルアンサンブルコンテスト 一般部門 スイレン（女声）★銅賞 あさひ（混声）★銅賞
- ・オリンピックコンサート2020 in大阪プレミアムサウンドシリーズ その他 学園行事多数出演



私がコーラス部に入ったきっかけは、大阪成蹊短期大学幼児教育学科から大阪成蹊大学教育学部に編入学することを決めたことでした。初めは何となく活動していましたが、コーラスをすることの楽しさを先生や部員、合唱曲から教えてもらいました。コーラス部の練習は、楽しく行うときもあれば真剣に取り組むときもあります。コンクールに向けての練習は大変なときもありますが、部員一丸となって活動しているので自分自身も出来ることを精一杯頑張るようにしています。

大阪成蹊大学・短期大学コーラス部 部長 **阿部 幸輔**

OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

OSAKA SEIKEI COLLEGE

2019年度

コーラス部

- ・第56回 大阪府合唱祭
- ・第86回 NHK全国音楽コンクール ★銀賞
- ・2019年度 大阪府合唱コンクール ★銀賞
- ・T.LEAGUE オープニング演奏
- ・第15回淀川区「1千人の第九」
- ・第19回 大阪ヴォーカルアンサンブルコンテスト 2チーム出場 ★銀賞
- ・オリンピックコンサート2020 in大阪プレミアムサウンドシリーズ その他 学園行事多数出演



私達は日々の練習で1つ1つの音を丁寧に歌う事を目標に、部員総勢41名で活動しています。とてもアットホームな雰囲気や学年やコース関係なく、みんなで楽しく活動しています。多くの人から愛されるクラブを心掛け、成長していけるよう頑張っています。

コンクールの他にも「大阪府合唱祭」、「Tリーグオープニングイベント」、「淀川区1千人の第九」、「オリンピックコンサート」など数多くの演奏会にも出演しています。

大阪成蹊女子高等学校コーラス部 部長 **窪田 愛美**

2019年度

吹奏楽部

- ・癒しのコンサート
- ・常翔学園吹奏楽部との合同コンサート
- ・大阪府吹奏楽コンクール北地区大会大編成A組 ★銀賞
- ・四天王寺ワッソ
- ・マスターズ甲子園 2019 応援演奏
- ・木川南小学校PTA主催 子ども年末お楽しみ会
- ・大阪府アンサンブルコンテスト ★銀賞 その他 学園行事多数出演



平日は2時間程度、土曜日は4時間程度、個人練習やパート練習、コーチによる合奏指導を受けています。個人練習やパート練習でそれぞれの音を確認してから、合奏で全員の音が揃った時の喜びを感じられるのが吹奏楽の魅力です。本番までの練習は厳しく多忙ですが、納得のいく演奏ができたときの達成感は格別です。先輩・後輩間で音楽以外に興味の話で盛り上がることもあり、楽しい雰囲気や活動をしています。今後の目標は部員全員で心をひとつにして思い描く音色やハーモニーを奏でることです。また、4月25日（日）吹田メイシアターにて開催する演奏会では、たくさんの方に聴いてもらいたいです。

大阪成蹊女子高等学校吹奏楽部 部長 **長田 天音**

吹奏楽部

2019年度

- ・第1回サマーコンサート
- ・第46回大阪府アンサンブルコンテスト ★金賞（サクソフォン四重奏）
- ・第3回桃李コンサート

2020年度

- ・夏の発表会
- ・第47回大阪府アンサンブルコンテスト ★銀賞（クラリネット三重奏）

毎週火曜日、木曜日にグローバル館4階で演奏会に向けての合奏や個人練習を行っています。部活動をしていて、特に楽しいと感じることは部員同士、先輩後輩関係なく仲良く話すことです。部活動に対する意見交換もしっかりとできます。

今後の目標は私たち吹奏楽部のことを、学園の方だけでなく、地域の方にもっと知っていただけるように、定期演奏会やサマーコンサートを継続して企画していくことです。「大阪成蹊といえば吹奏楽部！」となるように頑張ります。

大阪成蹊大学・短期大学吹奏楽部 部長 **野澤 希**

大阪成蹊大学

大阪成蹊短期大学

「2020年8月26日 夏の発表会」開催報告



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、演奏会を開催することが困難な中、日々の練習の成果を何らかの形で発表したいという部員の想いから「夏の発表会」を企画しました。当日は、感染症対策を実施の上、観客は事前予約をされた方限定としました。約25人が来場し、アットホームで温かい雰囲気の発表会となりました。改めて、発表会開催実現にご尽力いただいたすべての方々に感謝を表したいです。

大阪成蹊大学・短期大学吹奏楽部 顧問 **矢倉 瞳**

2020年11月7日 大阪成蹊学園 Music Festival in 住友生命いずみホール



大学・短大 吹奏楽部



高校 吹奏楽部



高校 コーラス部



大学・短大 コーラス部



高校 音楽コーススタッフ

コロナ渦の中、本当に開催できるのか不安な日々の中、関係者が慎重に準備を進め、無事開催できた事、嬉しく思います。今回、私はリハーサル、本番と舞台袖から学生・生徒たちの様子を見ていましたが、久しぶりの本番という緊張感の中にも「いい演奏会にみんなですぞ！」という雰囲気がどのクラブからも伝わってきたので、とても誇らしく思いました。このような機会を、これからも学生・生徒達に提供し続けていきたいです。

大阪成蹊女子高等学校音楽コース主任 ステージマネージャー **菊田 隼平**

私達、コーラス部は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標としていたコンクールなどが全て中止となってしまいましたが、今回、いずみホールという素敵なホールで演奏することができ、本当に嬉しかったです。本番に向け、歌だけでなく、馴れないダンスも沢山練習しました。なかなかうまくいかない時もありましたが、本番はみんな笑顔で終えることができ、とても良かったです。私達にとってかけがえのない思い出になりました。

大阪成蹊女子高等学校コーラス部 **池尻 妃花**



GRADUATE TIMES

様々な世界で活躍する大阪成蹊学園卒業生の今にフォーカス

大きく成長できた4年間 ～東京五輪を目指して～

大阪成蹊学園スポーツ&カルチャーセンター職員

青山 聖佳

SEIKA AOYAMA

大阪成蹊大学 マネジメント学部 マネジメント学科 スポーツビジネスコース <平成 31 年卒>

大学での学びは今に活きています

私は、大阪成蹊大学マネジメント学部マネジメント学科スポーツビジネスコースで4年間学びました。スポーツマネジメントの授業を通じて、目標に向けて筋道を立てる事の大切さを学ぶ事ができました。試合ごとに目標タイムやレース展開を設定する事で常に試合を想定した練習ができ、準備を十分に行っている事で落ち着いて試合に臨む事ができます。また、マインドマップやSWOT分析に取り組んだ事で自分の強み・弱みを明確にし、自分を客観的に見る事ができるようになりました。上手いかなかった時の原因が分かり、改善できるようにもなりました。このことは競技だけでなく、私生活にも繋がっていると思います。今後も大学で学んだことを活かしていきたいと思っています。

陸上競技を通じた人との繋がり

私は五輪・世界選手権出場を目指し、大阪成蹊大学に入学しました。在学中は日本インカレ、日本選手権での優勝、そして世界選手権に出場することができました。順風満帆な競技生活でしたが、大学3年生から4年生の約2年間スランプに陥りました。試合に出場しても予選敗退、記録も自己ベストから5秒以上も遅いタイムでしか走ることができませんでした。次第に400m競争で走ることが怖くなり、スタートラインに立った瞬間辛いことから逃げたい気持ちでいっぱいでした。自分の良さであった積極的な走りができず、自信を無くしてしまいました。自分に対して希望が持てず、陸上競技を辞めて楽になりたいと思っていましたが、指導していただ



いる瀧谷先生を始め多くの方が色々な方向から私を支えてくださいました。時間は非常にかかりましたが、どんな時でも応援して下さる周りの方の思いに気づいてからはモヤモヤしていた気持ちも吹っ切れ、陸上競技がまた楽しいと思うことができるようになりました。



写真提供：月刊陸上競技

令和元年度は3年ぶりに日本選手権で優勝、男女混合4×400mリレー走でドーハ世界選手権に出場することができました。また、昨年度は4年ぶりに自己ベストを更新し、日本選手権で2連覇をすることができました。私1人では決してここまでの成績を残すことができませんでした。諦めかけていた時に多くの方が手を差し伸べてくださったからこそ、今の私があります。支えていただいた方々には感謝の気持ちでいっぱいです。陸上競技を通じて得た繋がりは、大切にしていきたいと思っています。また、瀧谷先生からは「陸上競技を通じて良い大人になりなさい」と常々言われています。逞しさや自立、周りの方への気遣いなどを陸上競技から学ぶ事ができました。瀧谷先生の教えを胸に刻み、今後も陸上競技に取り組んでいきたいと思っています。

大学卒業後、大阪成蹊学園スポーツ&カルチャーセンターの職員として働かせていただきながら陸上競技に取り組んでいます。引き続き瀧谷先生に指導していただき、学生時代と変わらない環境で練習することができています。競技に集中できる環境、いつも支えていただいている大阪成蹊学園、蹊友会の皆様に感謝し、東京五輪では400m競争と4×400mリレー走に出場できるよう日々の練習・生活に励んでいきます。またご声援の程よろしくお願い致します。



写真提供：月刊陸上競技

日本記録保持種目
300m 4×400mR 男女混合4×400mR

自己ベスト

200m 23.68
(2015. 10 日本ジュニア陸上競技選手権大会)
300m 37.08
(2020. 10 田島直人記念陸上競技大会) 日本記録
400m 52.38
(2020. 7 大阪陸上競技選手権大会)



https://youtu.be/7n24_RafBhQ

動画提供：日本陸上競技連盟

osaka seikei gakuen

在学中の経験で見つけたスポーツへの志

ミズノ株式会社 東京本社 勤務

葛西 裕一

YUICHI KASSAI

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 競技スポーツ学科
スポーツビジネスコース <平成 25 年卒>



スポーツ業界を志すきっかけ



現在、ミズノ株式会社(東京本社)でファングッズの企画担当をしています。(2019年～)業務内容は多岐に渡りますが、主にJリーグ(プロスポーツチーム)を中心とした契約に基づく権利(ライセンス)を活用したビジネスを推進させていくのが今の私のミッションになります。

在学時はスポーツビジネスコースとサッカー部に所属し、本当に様々な経験をさせていただきました。その中でもスポーツ業界を志すきっかけとなった経験として、ゼミと部活動でいまでも忘れることができない2つの海外経験があります。

スポーツビジネスニューヨーク研修(ゼミ)

二十歳を迎え、自分が知らない世界を知りたいと思いアルバイトで稼いだお金を握りしめ、ゼミの恩師の薦めで1週間のアメリカ研修へ行くことにしました。世界のスポーツに触れるのであれば、やはり四大スポーツだと思い、MLB(メジャーリーグベースボール)・NBA(ナショナルバスケットボールアソシエーション)・NFL(ナショナルフットボールリーグ)の視察に。そこですべての観客を楽しませるスポーツエンターテインメントの真髄を目の当たりにし、文化としてのスポーツを学びました。



サッカー部のヨーロッパ遠征:FC ケルン視察

「マキーン!マキーン!」試合終了後のスタジアムで、通りすがりの見ず知らずのドイツサポーターから日本人の私たちへの声援が鳴り止まない。もちろん言葉は通じません。しかし、サッカーというスポーツを通して、お互いの心が通じ合ったのです。これまで、これほどの感動を味わったことはありませんでした。

初心を忘れず夢の実現を目指す

このような学生時代の貴重な海外経験を通して、「スポーツであれば、世界を1つにできる」そう考えるようになりました。そして、これらの経験から「スポーツを支えるプロフェッショナルになりたい」と思い、現在の会社を志望し、入社しました。また、入社後は大阪本社で関西圏のスポーツ店の営業担当やフットボールの企画担当を経て、現在は東京本社にて勤務しています。フットボールだけに限らず、数多くの種目に携わることができることもいまの仕事の魅力の1つになります。



しかし、昨今の社会情勢において、この先いつ何が起こるかは誰も予想することができません。人とは違った経験をし、今後困難な状況に直面したときにも、客観的に解決策を考え実行していくことができる人間になり、自身の力で未来を切り拓いていきたいと思っています。コロナによって苦しい状況が続いていますが、スポーツの最前線に携われることに感謝し、精進していきます。また、初心を忘れることなく、夢の実現のために積極的にチャレンジ精神をもって取り組んでいこうと思います。大阪成蹊学園関係者の皆様、引き続きよろしくお願い致します。

osaka seikei gakuen

大阪成蹊女子短期大学卒業でも 大学院修了が可能！ 叶った私の夢

箕面学園福祉保育専門学校専任教員

杉森 眞理子

MARIKO SUGIMORI

大阪成蹊女子短期大学 児童教育学科 初等教育学専攻 <昭和50年卒>

大阪成蹊大学大学院 教育学研究科 教育学専攻 <令和2年卒>



43年ぶり母校での新たな学びの機会

私は、1975年(昭和50年)に当時の大阪成蹊女子短期大学児童教育学科初等教育学専攻を卒業しました。

学生生活の思い出は多く、友人や先生方にも恵まれ2年間で学習・体験をさせて頂いた学舎を巣立ち、本学の建学の精神「桃李不言下自成蹊」を背骨にし、幼児教育の道を歩みだしました。公立幼稚園教諭、主任教諭、園長職を大過なく全うし退職。その後3年間、再任用園長職を果たし、民間の保育園、認定こども園の園長として勤務をしようとした2018年、蹊友会より本学に社会人対象の夜間大学院開設の情報と共に私達蹊友会員にも道を開き、学び直しの機会を与えられる旨の記載を見て、私は母校に向かいました。

入試統括本部で受験に関する書類をいただき説明を受けた後、大学院教育学研究科科長三村寛一教授の研究室に案内されて夜間大学院の内容等について説明を受け受験することに決めました。私は大学資格審査及び大学院入学試験を受験し見事「合格」を手にし、晴れて大阪成蹊大学大学院教育学研究科修士課程第一期生となりました。

多くを学び、支えられた充実の2年間

大学院は、2年間で修了しますが、本務職で忙しい学生のために4年間学習できるプログラムも準備されていて、授業



は火曜木曜金曜の午後6時から2コマと土曜の午前9時から4コマ開講されており余裕を持って受講し修了する事ができ、幼稚園教諭専修免許状も取得できました。私は現職責の仕事を終えて学園に向かい、相川駅近くから「大阪成蹊」と点さ

れる灯に励まされたり、この歳で公共施設利用の「学割」を経験するなど、充実した楽しい2年間でした。

「大学は学生のためにある」と温かくも信念強く研究の一端を導いてくださった三村寛一教授、「達人研究」に依拠する研究の方途を導いて下さり、毎回のゼミで鍛えて下さった山本智也教授、多くの教授陣から『「省察的研究」とは・「教育学」とは』を学び、支えられての2年間でもありました。院生は多様な職種で専門性の見識も高く、人格高潔な兵ばかりで、互いの立場から意見表明をし、情報交換の中からも多くの学びを得る事ができ、今も精神面でつながっています。

「学びは光」本学での教育を芯に

現在、私は箕面学園福祉保育専門学校専任教員として教育の道を再び歩み始め、保育士・幼稚園教諭をめざす学生に保育領域の授業を行っています。

『本学園で培った「人間力」で社会で活躍を』との武蔵野実学長の贈を頂き、大阪成蹊女子短期大学から出発し大阪成蹊大学大学院へと本学で教え導いて下さった教育を芯として、「学は光」と学生達の貢献できる実践力と専門性の育成に努めてまいります。



自分の将来は“小学校の先生しか無い” と思えたのは、教育実習があったから

大阪市立高殿小学校 教頭

河西 透雄

YUKIO KAWANISHI

大阪成蹊短期大学 児童教育学科 初等教育学専攻 <平成24年卒>



卒業生 教頭 河西透雄先生にインタビュー！！

新型コロナウイルス禍の中、学校現場では子ども達の安全確保を第一として、日々緊張感の中で細心の注意が払われています。特に教頭先生の立場は、学校と家庭や地域・教育委員会等の役所関係とをつなぐ要として重要です。そのような教頭先生として、大阪市立高殿小学校で勤務2年目となる河西透雄先生に、インタビューをさせていただきました。

Q1.河西教頭先生は、児童教育学科 初等教育学専攻で学ばれていますが、なぜ、小学校の先生を目指したいと思われたのか、その理由をお聞かせください。

A. たくさんの恩師との出会いが教職のすばらしさを知る機会となり、教師という職業につながりました。恩師に一步でも近づけるよう、日々努力しています。

特に、小学校時代に出会った先生のお言葉は、今でも心に強く残っています。「人の気持ちは鏡同士。鏡と同じように写し合っている。河西君が相手のことを好きだったら、相手も河西君のことを好き。河西君が相手のことを嫌いだったら、相手も河西君のことを嫌いと思うよ。」とおっしゃいました。当時は言葉の意味がよく分かりませんでした。大人に近づくにつれ、先生がおっしゃった意味が分かるようになりました。

私は子どもの時から音楽が好きで、高校卒業後は「ミュージシャン」の道へ進みましたが、「人の気持ちは鏡同士」という小学校の先生のお言葉は、ずっと心の中にありました。これからの人生、私も小学校の先生になって“子ども達の気持ちと気持ちのふれ合いを育みたい”との思いが高まり、意を決して本学の門を叩きました。

Q2.学生時代で、何が一番しんどかったですか。苦労したことはありますか。

A. 教育実習等の実地実習は苦労しました。日誌や実習簿、学習指導案作りなどが大変で、睡眠時間を確保するのが難しかったです。しかし、自分の将来は“小学校の先生しか無い”と思えたのは、教育実習があったからです。大阪成蹊でお世話になった先生方をはじめ、実地実習に関わってくださった皆様方には、今でも感謝しています。

Q3.“教師は授業で勝負する”と言われるますが、「分かる授業」を展開していく上で、工夫や大切にされたことはありますか。

A. 授業を行っていく上で大切にすることは「学級経営」です。ここをおろそかにしていると、毎日の授業が成り立ちません。児童との信頼関係が築けていないと、児童も私自身も授業が退屈なものになってしまいます。そうならないよう

に、日頃からコミュニケーションをとり、児童と関わる時間を作るのに必死でした。朝の時間や休み時間、掃除の時間も放課後も、いつでも児童と思いきり関わることを大切にしました。

Q4.子ども達に、将来どんな大人になってほしいと思っておられますか。

A. 「ありがとう」の対義語は、「当たり前」です。「ありがとう」は、「有難し」「有難い」といい、「当たり前」ではないということです。私達は、毎日起こる全ての出来事を「当たり前」のように思って過ごしていないでしょうか。

日々の出来事は、「当たり前」ではなく、「有り難い奇跡」の連続なのかもしれません。子ども達には、全ての出来事に「ありがとう」と、心から感謝できる人になってほしいと願っています。

Q5.学生時代、何が一番楽しかったですか。

A. とにかく、よく学びよく遊びました。クラス関係なく、仲間と一緒に自習室・図書館でのレポート作成やテスト対策勉強。みんなで一緒にご飯を食べに行ったり、いろいろな所へ出かけたりと、本当に楽しかったです。現在は、みんなそれぞれ忙しいようですが、落ち着いたらぜひ会いたいですね。



写真：大阪市立高殿小学校たかのPTAより

河西先生には、お忙しい中、インタビューにお答えくださり有り難うございました。これからも、子ども達の健やかな成長を目指し、教育道に邁進されることを心より願っております。

寄稿

Contribute
いただきました。

恩師より



元 大阪成蹊短期大学学長
政本 幸三
YUKIMITSU MASAMOTO

短大運営は
改革にチャレンジ
できた充実した
時間でした

大阪成蹊学園を退職して早いもので 10 年目を迎えます。世の中は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、自粛生活を余儀なくされていますが、私の生活スタイル・リズムは今までと変わりなく、晴耕雨読を中心にした日々を過ごしています。

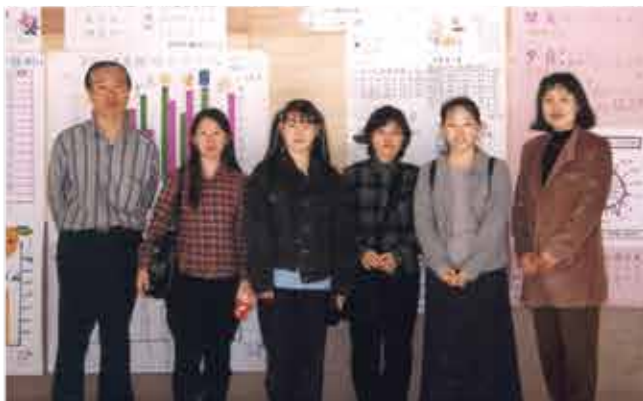
平成 10 年 4 月より大阪成蹊女子短期大学（現大阪成蹊短期大学）にお世話になりましたが、それまでの約 30 年間はメーカーの研究者として、基礎研究に従事しておりました。平成 9 年大阪成蹊学園の知人から大学にきて学生教育に携わってみたいかとの誘いをいただき、これまでの企業研究者の道に区切りをつけ、学生時代からの憧れであった大学教員への転身を決断しました。

大学教員となり初めての学生教育・指導には悩むこともたくさんありましたが、魅力ある教員の仕事に携わっている喜びと責任の重さを実感する日々でした。緊張して臨んだ最初の授業、たしか食品学の講義だったと思います。とにかく大きな声を出すことだけを心掛け行った授業、無事に終えた時の安堵感と心地よい疲れを今もはっきりと覚えています。また、初めて学生と過ごしたセミナーハウス（現びわこ成蹊スポーツ大学）での一泊研修、学生と一生懸命取り組んだ大学



祭（模擬店、作品展示）やオープンキャンパスなど楽しい思い出がよみがえってきます。

平成 10 年、既に学生数は減少に転じており、短大を取り巻く環境は厳しさを増していました。少子化の波と四大指向の流れ、更には専門学校への学生人気の高まりは、短大の教育で「何ができるようになるのか」が問われ、短大の価値が見直される時代にありました。この社会背景のもと、私たちは短大改革委員会や学科改組プロジェクトを立ち上げ、新時代の大阪成蹊短大の役割と機能はどうあるべきか、教学改革や教員の意識変革に懸命に取り組みました。しかし、実現できたことは抜本的な短大改革には程遠い学科・コース名称の変更と一部コースの新設に留まりました。これも学園の厳しい経営状況を考えると致し方ない選択であったと思っています。今振り返ると副学長、学長として短大運営に携わった 5 年間（平成 18 年～ 23 年）は、学生数の減少に歯止めをかける有効な施策が打ち出せず、苦しい辛い時期にありましたが、短大改革という大きな課題にチャレンジする機会が与えられ、充実した時間を過ごすことができました。



東日本大震災が発生した平成 23 年 3 月、13 年間の教員生活を終え、その後は地域のボランティアとして、「びわ湖をきれいにするには先ず地元の川から」を合言葉に、びわ湖や河川の清掃作業、環境と観光を融合したエコ遊覧船の運航や川の生きもの調査など、より多くの人たちに川やびわ湖の自然環境を守ることの大切さを実感してもらえるイベント活動を推進してきました。また、平成 27 年からまちづくりの一環として、産・官・学との協働によるびわ湖の固有種「ビワマス」が遡上できる川づくり活動に取り組んでいます。すぐに目に見える成果は上がらないのが環境活動の難しいところですが、「一人の百歩ではなく、百人の一步」の考え方を大切に、小さいことからコツコツと地道に活動の輪を地域の人たちに広げていきたいと考えています。

人生 100 年時代、五木寛之さんの著書「百歳人生を生きるヒント」にあるように、残りの人生をオマケにしない、70 代を十分楽しみ、活力を補充する時期にしたいとの思いを強くしています。

最後になりましたが、大阪成蹊学園の学生並びに教職員の皆様のご活躍を念じてやみません。

大阪成蹊学園のおいしい学食

大阪成蹊学園の学生、生徒、教職員の健康増進のために学園全ての食堂でメニューのクオリティアップを実施しました!! 美味しく健康的なメニューで心と身体を満たしてくれる大阪成蹊学園の学食についてクローズアップします。

One Coin Special Menu



コスト面から学食では提供が難しいハイクオリティメニューの数々を、学園が一部金額を負担し、定期的にイベント形式で「ワンコインスペシャルメニュー」として提供しています。季節に合わせたスペシャルメニューもあり、学生に大人気です!

Osaka Seikei University Osaka Seikei College Osaka Seikei Girls' High School

相川キャンパス

キャンパス内に 4 ヶ所の食堂があります。



図書館棟 1F「ラ・サンティエ」

吹き抜けて明るく陽の光が差し込む「ラ・サンティエ」は、相川キャンパス内で最も広く利用者が多い食堂です。ビュッフェスタイルの食堂で麺類や丼ぶり物などの定番メニューはもちろん、「こみちランチ」という名の日替わりランチや小鉢メニューも充実しています。



高校食堂「フルリール」

2018 年にリニューアルしたこの食堂。カラフルな椅子が置いてあり、柔らかな照明に包まれた女子校らしい空間となっています。お昼休みに友人と楽しくお喋りをしながら、ランチタイムを楽しむことができます。

Biwako Seikei Sport College

びわこ成蹊スポーツ大学



中央棟 4F
「Lake Crest (レイク クレスト)」

ガラス張りの中央棟 4F にあり、琵琶湖を一望できる展望レストラン「Lake Crest (レイク クレスト)」。四季折々に変化する比良山系や琵琶湖の景色を見ながら、ランチタイムを楽しむことができます。スポーツをする学生向けに必要なエネルギーを考えて作られた「アスリートランチ」は、スポーツ大学ならではのオリジナルメニューです!



Preventing COVID-19
in Cafeteria

感染症対策



構内の入口各所に、体温測定カメラを設置。各食堂にアルコール消毒液、飛沫防止シートを設置し、感染症対策を行っています。

令和3年度蹊友会総会についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息することなく猛威を振るっております。その影響により、令和2年度総会は集会形式の総会を中止し、蹊友会ホームページに総会の資料を掲載させていただきました。今後も新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されることから、会員の皆様の健康・安全を第一に考え、「令和3年度蹊友会総会」の開催については現在のところ未定とさせていただきます。本総会が開催できる状況になりましたら、改めて皆様に総会のご案内をお送りさせていただきます。開催を楽しみにして下さっている皆様には、このようなご案内となり大変残念ではございますが、ご理解をいただきたく存じます。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

KEIYU

大阪成蹊学園同窓会 蹊友会

蹊友会の支部・クラブOB会をつくりませんか？

蹊友会では、同窓生の交流の場、親睦を深める活動を応援しています。今後の同窓会活動の活性化・同窓生ネットワークの強化を目指し、蹊友会支部及びクラブOB会等の設立を募集していますので、奮って申請してください。

設立に必要なもの

＜会員数＞ 10名以上（上限なし）の蹊友会会員
※会員以外は所属できません。

＜名 称＞「大阪成蹊学園蹊友会 ○○○」
※○○○は○○支部、大阪成蹊大学○○部OB会など任意

＜申請書類一式＞

- ① 支部・クラブOB会等設立申請書
※所定様式は蹊友会ホームページよりダウンロード可能
- ② 会則（案）※「大阪成蹊学園蹊友会○○支部会則（案）」等、ホームページの会則（案）例を参考に作成
- ③ 役員名簿 ※会長1名、会計1～2名は必須
- ④ 会員名簿
- ⑤ その他 ※蹊友会役員会が要請した場合

以上の書類一式を蹊友会事務局宛に送付し、蹊友会役員会で審議され承認された団体には、総会や会合等の活動助成金が支給されます。

同窓会活動の更なる活性化



同窓生のネットワークの強化

会員情報変更の場合はお知らせください

- 住所変更（市町村合併等による住所表記変更含む）
- 改姓、改名
- 逝去
- 蹊友会からのご案内送付停止ご希望の場合

会員情報変更 お手続き方法

1 ホームページ

スマホで会員情報変更ページを開き、必要事項を記入してボタンを押すだけで登録が完了いたします。

<https://osaka-keiyukai.jp/wp/edit/>



会員情報変更お手続き専用ページ QRコード

2 E-mail

info@osaka-keiyukai.jp

3 FAX

06-6340-0727

4 郵送先

〒533-0007
大阪府大阪市東淀川区相川3-9-20
大阪成蹊学園蹊友会事務局 宛

ホームページ以外（②③④）の方法でご登録の場合は、以下の項目をご記入ください。

1. 会員番号（宛名の下に記載）
2. 氏名（ふりがな）
3. 旧姓（ふりがな）※卒業時の姓
4. 新住所（郵便番号含む）
5. 電話番号
6. メールアドレス（任意）
7. 卒業校・学科
8. 卒業年

※海外への送付は行っておりませんので、ご了承ください。 ※蹊友会では現在、名簿の販売等は一切行っておりません。

蹊友会は、個人情報保護の重要性を深く認識し、個人情報の安全管理に努めながら同窓会活動を進めてまいります。蹊友会個人情報保護方針につきましては蹊友会ホームページの「個人情報保護方針」をご覧ください。（<https://www.osaka-keiyukai.jp/policy/>）

蹊友会からの送付物にお心当たりのない方は、お手数ですが蹊友会事務局までお知らせください。

着任のご紹介

びわこ成蹊スポーツ大学 副学長
(大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所 所長)

大河 正明



Bリーグ（公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ）のチェアマン（理事長）を務めた大河正明氏が、令和2年7月1日付けでびわこ成蹊スポーツ大学副学長、大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所所長に着任されました。

大河氏は、京都大学法学部卒業後、株式会社三菱銀行（現三菱UFJ銀行）に入行され、平成7年から2年間、Jリーグ（公益社団法人日本プロサッカーリーグ）へ出向。スポーツ団体の経営改革、組織運営強化に取り組んでこられました。平成22年に銀行を退職しJリーグに転職、クラブライセンス制度（プロクラブの資格制度）の導入やJ3

リーグを創設されるなど手腕を発揮され、その後、Jリーグでの数々の功績から、バスケットボール界の組織改革に携わり、当時分裂状態にあった男子プロバスケットボールリーグの統合に尽力されました。これまで長きに亘りスポーツ界の経営基盤とガバナンス強化を担ってこられた経験から大阪成蹊学園に招聘されました。

現在、びわこ成蹊スポーツ大学副学長として、大学の競技スポーツの戦略的強化と、自治体や産業界、スポーツ界と連携した教育研究の強化など、これまでにプロリーグで培われた見識や人脈を生かした将来計画の遂行に尽力されています。また、大阪成蹊大学ス

ポーツイノベーション研究所所長として、スポーツ振興に関する調査分析や政策提言、シンポジウムや研究会の開催などの統括を担っています。

研究所では、「スポーツが心を動かす」「スポーツが未来を創る」「スポーツが社会を変える」と3つの理念を掲げ、スポーツのイノベーションを起こすべく調査研究されています。着任後の事業として、本年1月から、プロリーグの運営に携わった経歴を持つ講師を招聘し、社会人を対象とした公開講座「スポーツイノベーションアカデミー」を開講されました。

大阪成蹊学園 蹊友会役員

＜名誉会長＞ 石井 茂	（大阪成蹊学園理事長・総長）	＜会 計＞ 細川 恵子	（平成22年 大阪成蹊女子高等学校 卒業 平成24年 大阪成蹊短期大学幼児教育学科 卒業）
＜会 長＞ 薮田 一子	（昭和39年 大阪成蹊女子短期大学初等教育科 卒業）	＜監 査＞ 谷口 智子	（平成元年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業）
＜副 会 長＞ 坂本 光江	（昭和43年 大阪成蹊女子短期大学初等教育科 卒業）	＜監 査＞ 今里 清美	（平成元年 大阪成蹊女子高等学校 卒業 平成3年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業）
＜副 会 長＞ 神谷 香央里	（平成19年 大阪成蹊大学現代経営情報学部 卒業）	＜書 記＞ 倉岡 優恵	（昭和59年 大阪成蹊女子高等学校 卒業 昭和61年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業）
＜副 会 長＞ 鍋嶋 幸富	（平成19年 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 卒業）	＜書 記＞ 赤山 朝朗	（平成19年 大阪成蹊大学芸術学部 卒業）
＜事務局長＞ 阪本 清美	（昭和58年 大阪成蹊女子短期大学児童教育学科 卒業）	＜書 記＞ 福井 未紗希	（平成19年 大阪成蹊女子高等学校 卒業 平成23年 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 卒業）
＜会 計＞ 鍋嶋 静	（平成24年 大阪成蹊大学芸術学部 卒業）		

KEIYU

令和元年度大阪成蹊学園蹊友会決算報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1. 収入の部

項 目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	差 異	備 考
前年度繰越金	147,655,234	147,655,234	0	
会 費 収 入	33,340,000	32,398,000	△942,000	
協 力 金 収 入	1,000,000	1,136,000	136,000	寄付金
受 取 利 息 収 入	20,000	19,509	△491	
雑 収 入	0	122,000	122,000	
びわこ成蹊スポーツ大学 同窓会組合に係る収入	19,315,102	19,315,219	117	
合 計	201,330,336	200,645,962	△684,374	

2. 支出の部

項 目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	差 異	備 考
新 聞 発 行 費	7,000,000	4,920,174	△2,079,826	新聞印刷費、発送費等
通 信 費	300,000	212,006	△87,994	協力金お礼送付 ネット・電話料金等
総 会 費	4,000,000	2,259,704	△1,740,296	総会運営費
教育・保育部会費	650,000	0	△650,000	
事 務 費	140,000	137,362	△2,638	事務用品等
会 議 費	300,000	258,542	△41,458	役員会運営費
慶 弔 費	150,000	5,000	△145,000	

記 念 品 費	1,400,000	1,193,192	△206,808	卒業記念品（ふくさ、ちりめんハンカチ）
会 館 維 持 費	250,000	204,830	△45,170	光熱水費等
委 託 料	2,800,000	1,800,000	△1,000,000	蹊友会事務業務委託料等
交 通 費	220,000	90,230	△129,770	役員交通費
使途特定寄付金	7,000,000	5,925,000	△1,075,000	学生表彰及び強化クラブ活動支援等
雑 費	100,000	74,416	△25,584	租税公課、振込手数料、振替証明手数料
広 告 宣 伝 費	650,000	446,680	△203,320	ホームページ更新、改修費用
同 窓 会 補 助	5,000,000	5,018,415	18,415	びわこ成蹊スポーツ大学見学（スグラー選抜員）
支部等活動補助	2,000,000	150,000	△1,850,000	びわこ成蹊スポーツ大学キャリア交流会
将来計画積立金	3,500,000	3,500,000	0	学園周年事業等
予 備 費	2,000,000	0	△2,000,000	
小 計	37,460,000	26,195,551	△11,264,449	
翌年度繰越金	163,870,336	174,450,411	10,580,075	
合 計	201,330,336	200,645,962	△684,374	

将来計画積立金 30,500,000



大阪成蹊大学
OSAKA SEIKEI UNIVERSITY

経営学部

◆経営学科

- 経営コース
- 公共政策コース
- 食ビジネスコース

◆スポーツマネジメント学科

国際観光学部 (仮称)※

- ◆国際観光学科 (仮称)※
- ※学部設置届出予定、計画は予定であり変更の可能性があります。

教育学部

◆教育学科

- 中等教育専攻
 - 英語教育コース
 - 保健体育教育コース
- 初等教育専攻
 - 初等教育コース
 - 幼児教育コース

◆大学院教育学研究科

- 教育学専攻 (修士課程)

芸術学部

◆造形芸術学科

- マンガ・デジタルアートコース
- アニメーション・キャラクターデザインコース
- ゲーム・アプリケーションコース
- バーチャルメディア・ボイスクリエイターコース
- ビジュアルデザインコース
- イラストレーション・美術コース
- ファッション・コスチュームデザインコース
- インテリア・プロダクトデザインコース



大阪成蹊短期大学
OSAKA SEIKEI COLLEGE

◆幼児教育学科

◆調理・製菓学科

◆生活デザイン学科

- 調理コース
- 製菓コース
- フードコーディネートコース
- アパレル・スタイリストコース
- ファッションコーディネートコース

◆栄養学科

◆観光学科

◆グローバルコミュニケーション学科

- 英語会話
- 日本語・日本文化
- 声優トライ
- 舞台パフォーマンス

◆経営会計学科

ファミリー入試制度のご案内

ご家族（受験者から三親等以内）のいずれかが、大阪成蹊学園内の併設校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在学生である方が対象となります。ファミリー入試合格者のうち、成績基準を満たす方には学費免除制度などの特典がございます。

※2022年度入試につきましては変更になる場合があります。

お問い合わせ先

大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学 入試統括本部

（受付時間 平日9:00～17:00）

〒533-0007 大阪府大阪市東淀川区相川3-10-62

TEL: 06-6829-2554 E-mail: nyu@osaka-seikei.ac.jp

入試情報サイト: <https://osaka-seikei-nyushi.jp>



びわこ成蹊スポーツ大学
BIWAKO SEIKEI SPORT COLLEGE

スポーツ学部

◆スポーツ学科

- 学校スポーツ教育コース
- スポーツビジネスコース
- 健康・トレーニング科学コース
- コーチングコース
- 野外・レクリエーションスポーツコース
- 生涯スポーツコース

◆大学院スポーツ学研究科



大阪成蹊女子高等学校
OSAKA SEIKEI GIRLS' HIGH SCHOOL

普通科

- *総合キャリアコース
- *特進コース
- *幼児教育コース
- *スポーツコース
- *音楽コース
- *看護医療進学コース

美術科

- *アート・イラスト・アニメーションコース

お問い合わせ先

びわこ成蹊スポーツ大学 入試部

（受付時間 平日9:00～17:00）

〒520-0503 滋賀県大津市北比良1204番地

TEL: 077-596-8425 FAX: 077-596-8496

E-mail: nyu@bss.ac.jp



大学ホームページ

<https://biwako-seikei.jp>



入試ナビ

<https://bss-nyushi.jp>

パソコン・スマホ・ケータイで大学案内・願書などの資料を請求する場合
<https://telemail.jp> 資料請求番号: 160891にアクセス

お問い合わせ先

大阪成蹊女子高等学校 募集広報企画室

（受付時間 平日8:30～16:30 土曜日8:30～14:30）

TEL: 06-6829-2514

E-mail: bosyu-hig@osaka-seikei.ac.jp



入試情報サイト: https://high.osaka-seikei.jp/ex_info/

ファミリー特待制度のご案内

下記の条件のいずれかに該当し入学された場合、奨学金支給の特典があります。

- ① 受験生の父・母・姉・兄のいずれかが、大阪成蹊学園内の設置学校（ただし幼稚園を除く）の卒業生または在学生（入学予定者も含む）である方
- ② 姉妹同時に入学される方（姉妹どちらにも適用されます）